

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成19年6月28日(2007.6.28)

【公表番号】特表2003-526623(P2003-526623A)

【公表日】平成15年9月9日(2003.9.9)

【出願番号】特願2000-618282(P2000-618282)

【国際特許分類】

C 0 7 F 9/11 (2006.01)

C 0 7 F 9/117 (2006.01)

C 0 7 F 9/12 (2006.01)

C 0 7 F 9/655 (2006.01)

【F I】

C 0 7 F 9/11

C 0 7 F 9/117

C 0 7 F 9/12

C 0 7 F 9/655

【手続補正書】

【提出日】平成19年5月8日(2007.5.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 複雑なアルコールのリン酸化方法であって、以下の工程

(a)80 以下の温度において、追加溶媒を加えることなく、1種以上の複雑なアルコールと P_4O_{10} との均質混合物を形成すること、及び

(b)この均質混合物を80 以下の温度において、リン酸化された複雑なアルコールの二水素形態の形成が実質的に完了するまで反応させ続けることを含む方法。

【請求項2】 工程(a)及び(b)における温度が0～50 である、請求項1記載の方法

。

【請求項3】 工程(a)及び(b)における温度が0～40 である、請求項2記載の方法

。

【請求項4】 工程(a)及び(b)における温度が約70 である、請求項1記載の方法。

【請求項5】 複雑なアルコールに対するリンの比が実質的に等モルである、請求項1又は4記載の方法。

【請求項6】 複雑なアルコールに対する P_4O_{10} の比が実質的に等モルである、請求項2又は3記載の方法。

【請求項7】 工程(b)における反応時間が約30分を超えない、請求項5記載の方法

。

【請求項8】 工程(b)における反応時間が約10分を超えない、請求項6記載の方法

。

【請求項9】 工程(a)における均質混合物が脂肪酸の存在下において形成される、請求項1～8のいずれか1項に記載の方法。

【請求項10】 前記脂肪酸が遊離脂肪酸である、請求項9記載の方法。

【請求項11】 請求項1～10のいずれか1項に記載の方法により製造された、複雑なアルコールのホスフェート誘導体。